

令和 5 年 6 月 27 日現在

機関番号：12201

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19K02723

研究課題名（和文）道徳教科化の日仏比較

研究課題名（英文）Comparison of Moral education classtime in Japan and France

研究代表者

上原 秀一（Uehara, Shuichi）

宇都宮大学・共同教育学部・准教授

研究者番号：70515965

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、我が国の小中学校における「道徳の教科化」の特徴を、フランスとの比較によって明らかにしようとするものである。我が国では、平成27年（2015年）3月の一部改正学習指導要領に基づき、平成30年度（2018年度）から小学校で、平成31年度（2019年度）から中学校で、「特別の教科 道徳」が実施された。フランスでも、2015年9月の新年度から「道徳の教科化」が行われ、「道徳・公民科（enseignement moral et civique）」が小中高校の全学年で実施された。そこで、本研究では、「道徳の教科化」に関わる問題状況の背景と課題を日仏比較し、我が国の特徴の解明を図ることとした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究によって、日仏両国における「道徳の教科化」後の学校現場の状況を観察・記録・分析することが出来た。特に、フランスの在外教育施設である東京国際フランス学園の協力を得て、フランス本国と同じカリキュラムによる授業実践を観察する研究手法を開発することが出来た。また、フランスにおける道徳教育に関する法令・教材・教師用指導書・研究書等の文献の収集・整理・分析を行うことが出来た。

研究成果の概要（英文）： This study attempts to clarify the characteristics of Moral education classtime in elementary and junior high schools in Japan by comparing it with France. In Japan, based on the partially revised Course of Study in March 2015, a special subject "Morality Period" was implemented in elementary schools from FY2018 and in junior high schools from FY2019. In France, Moral education classtime was implemented in all grades of elementary, junior high, and high school from the new academic year in September 2015. Therefore, in this study, we compared the background and issues of the problem situation related to Moral education classtime in Japan and France, and tried to elucidate the characteristics of Japan.

研究分野：比較教育学

キーワード：道徳の教科化 日仏比較 フランス 道徳教育

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 我が国における「道徳の教科化」：我が国では、平成 27 年(2015 年)3 月の一部改正学習指導要領に基づき、平成 30 年度(2018 年度)・平成 31 年度(2019 年度)から小中学校の全学年で「特別の教科 道徳」が実施された。これに伴い、道徳教育学の研究状況が急速な展開を見せていた。道徳教科化の是非を問う議論が活発に行われていた。また、道徳授業の方法に関する実践的研究も活発に行われていた。

(2) フランスにおける「道徳の教科化」：フランスでは、2013 年共和国学校再建法(ペイヨン法)に基づき、2015 年 9 月から小中高校の全学年で「道徳・公民科(enseignement moral et civique)」が実施された。フランスでは、道徳教科化の是非を問う議論は、我が国ほど活発ではなかった。しかし、道徳授業の方法に関する実践的研究は活発に行われており、教師向け授業マニュアルや児童生徒向け教材の出版が相次いでいた。

(3) ドイツを参照することで見える日仏両国の共通点：我が国の公立小中学校では、特定の宗教のための宗教教育が禁止されていて、「特別の教科 道徳」にも宗教教育の要素は含まれていない。フランスの公立学校でも、特定の宗教のための宗教教育が禁止されていて、「非宗教性(ライシテ)」の原則に基づく道徳教育が行われている。一方、ドイツの公立学校では、「宗教科」と「倫理科」の選択履修による道徳教育が行われている。日仏両国の道徳教育をドイツの道徳教育と詳しく比較することによって、日仏両国を比較する前提となる両国の共通性がよりいっそう明らかになるものと期待した。

2. 研究の目的

本研究は、我が国の小中学校における「道徳の教科化」の特徴を、フランスとの比較によって明らかにすることを目的とする。すなわち、道徳教科化の理由と、道徳教科化の影響について、日仏両国の共通点と相違点を明らかにするのである。

3. 研究の方法

(1) 当初、2019 年度から 2021 年度までの 3 年間の計画で、文献調査、現地調査、授業観察調査、授業実践調査、を行う予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 1 年間の延長申請を行った。

(2) フランスとドイツにおける仏独現地調査を行い、関係者へのインタビュー調査を通じて道徳教育政策の現状と課題を明らかにする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、フランスの現地調査は断念した。

(3) フランスの在外教育施設である東京国際フランス学園の協力を得て、フランス本国と同じカリキュラムによる授業実践の観察を試みた。この試みは、新型コロナウイルス感染症が拡大する前に当たる初年度にのみ行うことが出来た。

4. 研究成果

(1) 東京国際フランス学園における「道徳・公民科」の観察・記録・分析：東京国際フランス学園における授業実践の観察は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 2 年目以降の実施を断念せざるを得なかった。しかし、2 年目以降も同校本務教員である阿部弘氏との情報交換を継続することが出来た。その成果は、坂倉裕治・上原秀一・阿部弘・島埜内恵「特集 フランスの子どもたちの学校生活」(『ふらんす』第 95 巻第 10 号、白水社、2020 年、4-19 頁)として公表することが出来た。

(2) 宇都宮大学共同教育学部附属小中学校における道徳科授業の観察・記録・分析：宇都宮大学共同教育学部附属小中学校の教諭と協力して、継続的に道徳授業の観察・記録・分析を行うことが出来た。その成果は、大塚正也、上原秀一、和井内良樹他「児童・生徒が問題意識をもってかかわり合う道徳科の授業」(日本道徳教育学会第 99 回大会自由研究発表 2022 年 6 月 26 日、東京家政大学)として公表することが出来た。

(3) フランスの道徳教育に関する法令等の文献の収集・整理・分析：フランスの道徳教育に関する法令等の収集・整理・分析を継続的に行った。その成果は、大津尚志「ペイヨン法下 2015 年版学習指導要領に基づく小学校道徳教育の理論と方法」(『日仏教育学会年報』第 29 号、2022 年、77-87 頁)などの論文として公表することが出来た。

(4) フランスの道徳教育教材等の分析：フランスの道徳教育教材等の分析を継続的に行った。その成果は、吉野敦・杉山大幹・鈴木規子・上原秀一・辻和希・坂倉裕治「フランスの道徳・公

民科にかかわるデジタル・リソースの現状」(『早稲田教育評論』第 35 巻第 1 号、早稲田大学教育総合研究所、2021 年、79-92 頁)として公表することが出来た。

(5) フランスにおける道德教育に関する問題状況の分析：フランス教育学会第 39 回大会(宇都宮大学、2021 年 9 月 25 日)においてシンポジウム「フランスにおける道德教育・政治教育・宗教教育」を企画し、フランスにおける道德教育に関する問題状況の分析を試みた。その成果は、大津尚志・降旗直子・島埜内恵・前田更子・上原秀一・鈴木規子「課題研究報告 フランスにおける道德教育・政治教育・宗教教育」(『フランス教育学会紀要』第 34 号、2022 年、5-56 頁)として公表することが出来た。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計26件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 13件）

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 吉野敦、杉山大幹、鈴木規子、上原秀一、辻和希、坂倉裕治 | 4. 巻 35(1) |
| 2. 論文標題 フランスの道徳・公民科にかかわるデジタル・リソースの現状 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 早稲田教育評論 | 6. 最初と最後の頁 79-92 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 大津尚志 | 4. 巻 第210号 |
| 2. 論文標題 フランスの高校教育課程 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 高校生活指導 | 6. 最初と最後の頁 114-115 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 大津尚志 | 4. 巻 第16号 |
| 2. 論文標題 資料解題「フランスにおける2018年版「道徳・市民」科学習指導要領」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 教育学研究論集 | 6. 最初と最後の頁 67-71 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 杉山大幹、吉野敦、坂倉裕治 | 4. 巻 No.31 |
| 2. 論文標題 フランスの後期中等教育段階における道徳・公民科の教育指針 - （翻訳・解題）フランス国民教育・青少年省資料「道徳・公民科におけるアプローチと方法」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 早稲田大学大学院教育学研究科紀要 | 6. 最初と最後の頁 1-12 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名 大津尚志 | 4. 巻 第5号 |
| 2. 論文標題 フランス1950～70年代の道德・市民教育 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 武庫川女子大学学校教育センター紀要 | 6. 最初と最後の頁 26-38 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 上原秀一 | 4. 巻 34 |
| 2. 論文標題 フランスにおける道德教育・政治教育・宗教教育－課題設定の趣旨－ | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 フランス教育学会紀要 | 6. 最初と最後の頁 5-8 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 大津尚志 | 4. 巻 34 |
| 2. 論文標題 コレッジにおける道德・市民(EMC)の教育内容 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 フランス教育学会紀要 | 6. 最初と最後の頁 9-18 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 大津尚志 | 4. 巻 29 |
| 2. 論文標題 ペイヨン法下2015年版学習指導要領に基づく小学校道德教育の理論と方法 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 日仏教育学会年報 | 6. 最初と最後の頁 77-87 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 大津尚志 | 4. 巻 18 |
| 2. 論文標題 フランスの高校における『道徳・市民』科カリキュラム | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 教育学研究論集 | 6. 最初と最後の頁 40-47 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 伊藤亜希子, 立花有希 | 4. 巻 54(3) |
| 2. 論文標題 ドイツの異文化間教育論における「他者」の表象 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 福岡大学人文論叢 | 6. 最初と最後の頁 715-737 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------|
| 1. 著者名 和井内良樹 | 4. 巻 770 |
| 2. 論文標題 道徳授業力をチェック「子どもにとって魅力のある授業にしていくために」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 道徳教育 | 6. 最初と最後の頁 4-9 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 和井内良樹 | 4. 巻 774 |
| 2. 論文標題 道徳授業における体験的な活動一覧 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 道徳教育 | 6. 最初と最後の頁 8-11 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 和井内良樹 | 4. 巻 775 |
| 2. 論文標題 道徳教育にまつわるデータを読み解く | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 道徳教育 | 6. 最初と最後の頁 14-17 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計4件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件)

| |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名 大津尚志 |
| 2. 発表標題 コレッジにおける道徳・市民科 (EMC) の内容 |
| 3. 学会等名 フランス教育学会第39回大会 (招待講演) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 大津尚志 |
| 2. 発表標題 フランスの小学校における道徳・市民教育 - 「感受性」を中心に - |
| 3. 学会等名 日本道徳教育学会第94回大会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 大塚正也、渡邊明子、青木淳、上原秀一、鈴木紀子、山田有希子、和井内良樹 |
| 2. 発表標題 児童・生徒が問題意識をもってかかわり合う道徳科の授業 |
| 3. 学会等名 日本道徳教育学会第99回大会 |
| 4. 発表年 2022年 |

〔図書〕 計6件

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 日本道德教育学会全集編集委員会、柳沼 良太、行安 茂、西野 真由美、林 泰成 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 学文社 | 5. 総ページ数 274 |
| 3. 書名 諸外国の道德教育の動向と展望 | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 日本道德教育学会全集編集委員会、永田 繁雄、浅見 哲也、大庭 茂美、柴田 八重子 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 学文社 | 5. 総ページ数 272 |
| 3. 書名 幼稚園、小学校における新しい道德教育 | |

| | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 鈴木俊之他 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 国立教育政策研究所 | 5. 総ページ数 170 |
| 3. 書名 諸外国の教育課程改革の動向 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 鈴木敏之 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 国立教育政策研究所 | 5. 総ページ数 155 |
| 3. 書名 学校における教育課程編成の実証的研究報告書2 諸外国における人間性の涵養 | |

| | |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 伊藤良高、富江英俊、大津尚志、永野典嗣、富田晴生 | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 晃洋書房 | 5. 総ページ数 160 |
| 3. 書名 改訂版 道德教育のフロンティア | |

| | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 金光 靖樹 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 教育情報出版 | 5. 総ページ数 192 |
| 3. 書名 授業のための 新・「教職」道德教育 | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|---|-------------------------------------|----|
| 研究分担者 | 大津 尚志 (Otsu Takashi) (40398722) | 武庫川女子大学・学校教育センター・准教授 (34517) | |
| 研究分担者 | 坂倉 裕治 (Sakakura Yuji) (60318681) | 早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授 (32689) | |
| 研究分担者 | 立花 有希 (Tachibana Yuki) (60736198) | 宇都宮大学・国際学部・准教授 (12201) | |

6. 研究組織（つづき）

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------------------|--|--|----|
| 研究 分 担 者 | 和井内 良樹 (Wainai Yoshiki) (10752181) | 宇都宮大学・共同教育学部・教授 (12201) | |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
| | |